

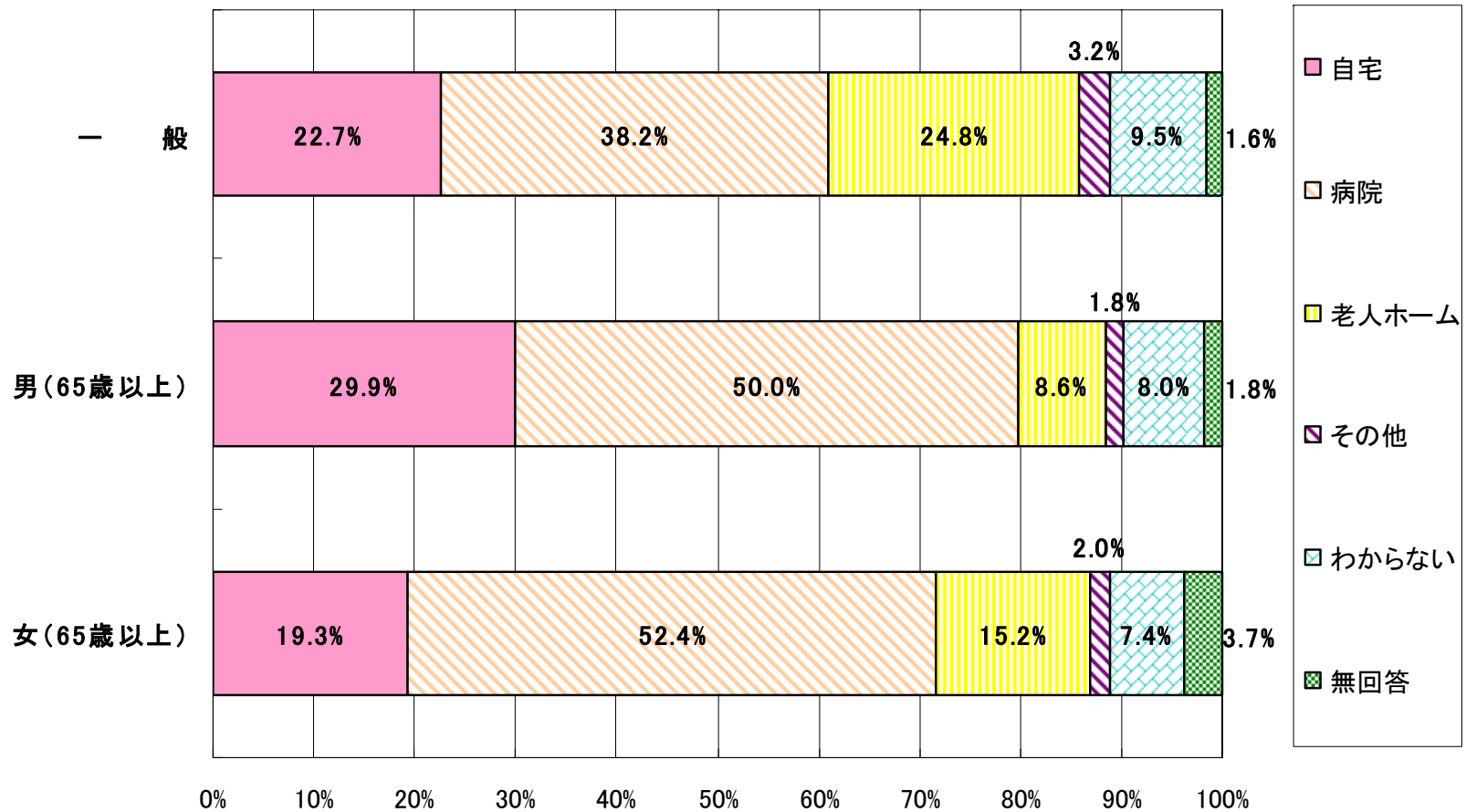
# ( 参 考 資 料 )

1. 最期の療養場所の希望(65歳以上男女別)について	.....	1
2. 看護職員の働き場所について	.....	2
3. 65歳以上人口に対する施設等の整備状況について	.....	3
4. 個室ユニットケアについて	.....	4
5. 在宅療養支援診療所の状況について	.....	7
6. 訪問看護ステーションの状況について	.....	9
7. 海外関係資料	.....	12

# 1. 最期の療養場所の希望(65歳以上男女別)について

本人が最期に療養を希望する場所は、65歳以上男性では29.9%が自宅を希望しているが、女性では19.3%である。

〈自身が高齢となり、脳血管障害や認知症等によって日常生活が困難となり、さらに、治る見込みのない疾病に侵されたと診断された場合に最期まで療養したい場所について〉

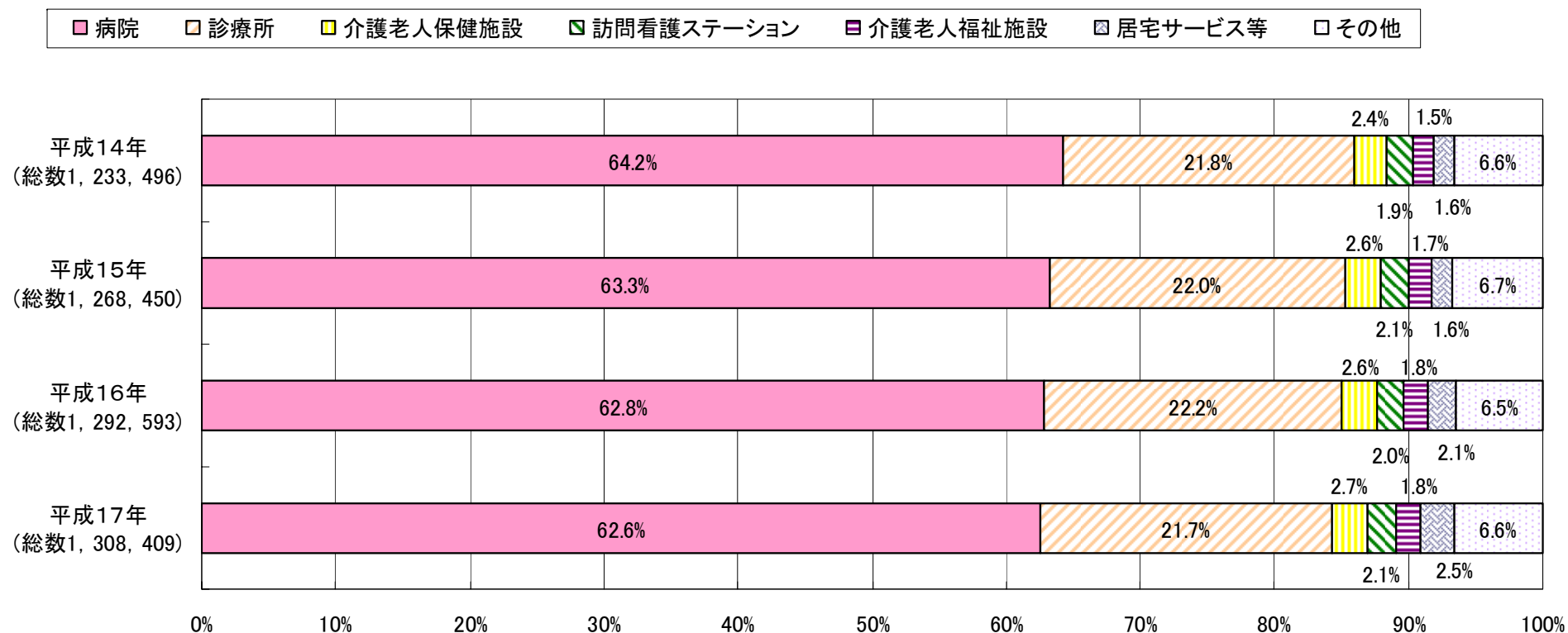


※「一般」は、20歳以上の一般国民である。

【資料】厚生労働省「終末期医療に関する調査等検討会報告書」(平成16年7月)から作成

## 2. 看護職員の働き場所について

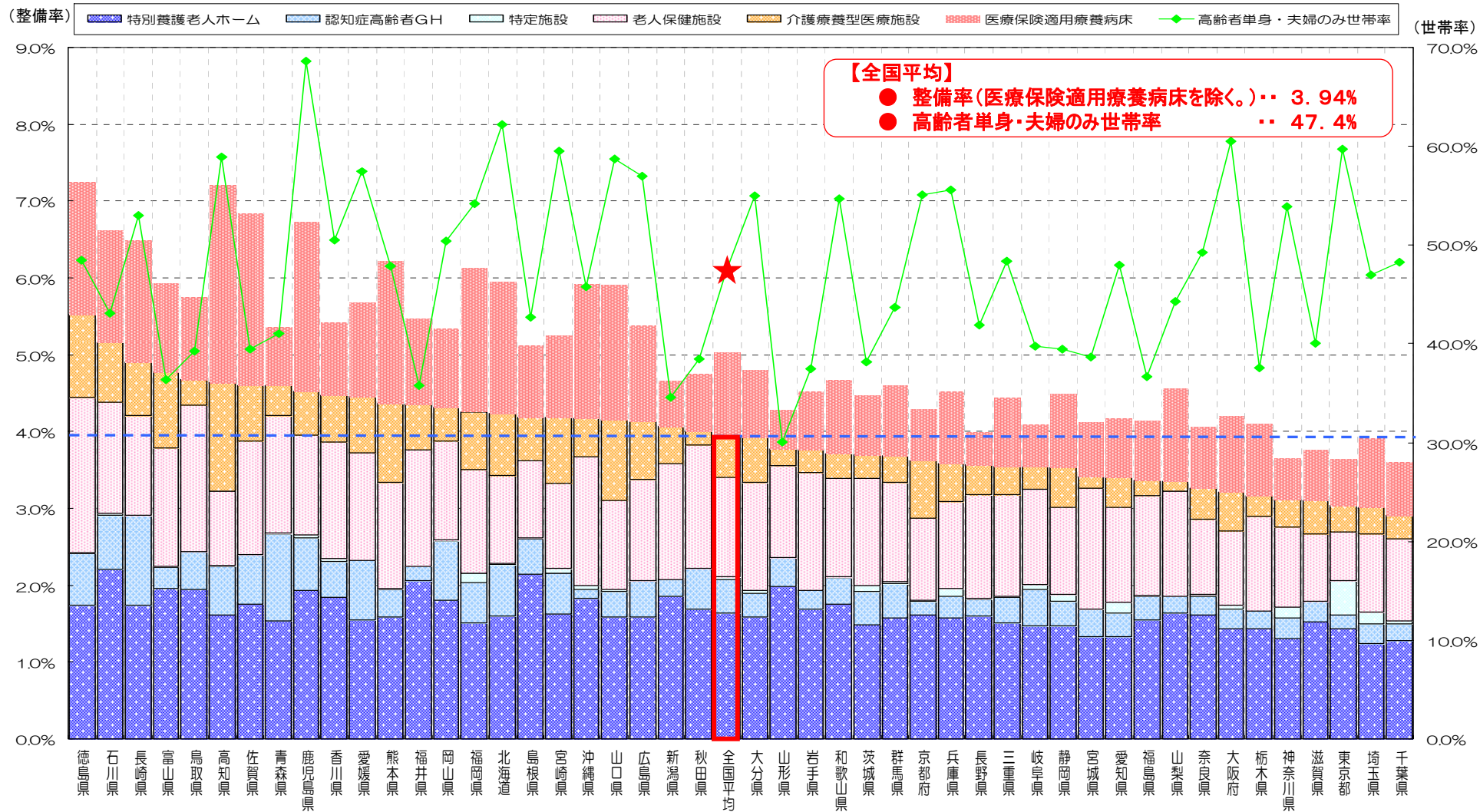
平成14年から平成17年にかけて、病院で働く看護師の割合が1.6%減少し、病院、診療所以外の場所で働く看護師が増加している。



※総数には准看護師、保健師、助産師を含む。

【資料】厚生労働省医政局看護課調べ

### 3. 65歳以上人口に対する施設等の整備状況について



※1 棒グラフについては、次の数値を平成18年度の高齢者人口の見込み（厚生労働省老健局計画課調べ）で除して得た率。

- ・介護保険3施設については、平成17年度末の定員数（厚生労働省老健局計画課調べ）
- ・居住系サービス（認知症高齢者グループホーム、特定施設）については、平成17年度末のサービス利用者数（厚生労働省老健局計画課調べ）
- ・医療療養病床については、平成18年3月末の病床数（「病院報告（平成18年3月分概数）」（厚生労働省統計情報部））

※2 折れ線グラフについては、高齢者単身世帯と夫婦のみ世帯の合計数を65歳以上親族のいる一般世帯の総数で除して得た率（「平成17年国勢調査第1次基本集計（確定値）」（総務省統計局））

## 4. 個室ユニットケアについて

高齢者の尊厳ある生活を保障するという意味から、施設には、入所者個人の生活環境を重視し、外の社会とのかかわりを保つことができるような取組みが求められる。このため、利用者一人ひとりの個性と生活のリズムを尊重したケア(個別ケア)を行うことが大事である。

この個別ケアを実現するために、特別養護老人ホームや老人保健施設では「ユニットケア」を導入する施設が増えてきている。

### ○ユニット型施設の基準(抜粋)

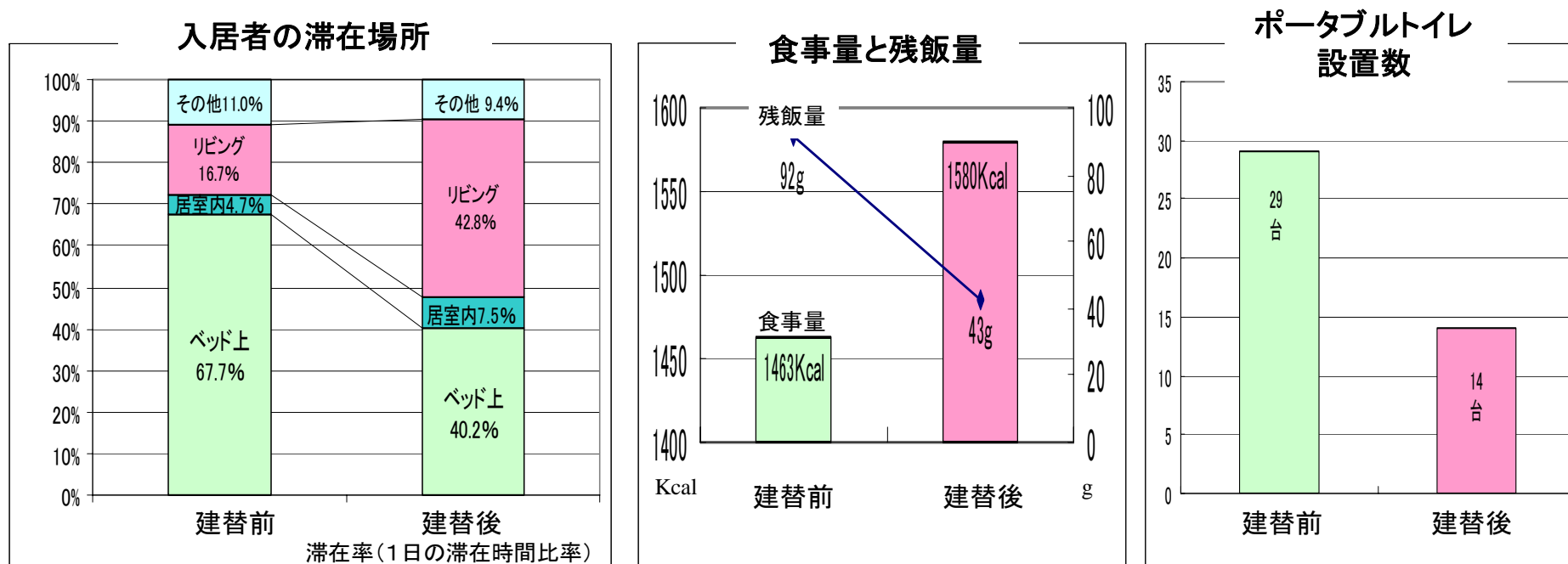
1. 1ユニットはおおむね10人以下
2. 個室と共同生活室(リビング)等を確保
3. 職員配置
  - 昼間は、ユニットに常時1人以上の看護・介護職員
  - ユニットごとに常勤のユニットリーダー
  - 夜間及び深夜は、2ユニットに1人以上の看護・介護職員

ユニットケアは、次のような調査研究結果を基に、平成15年度から導入。

- ①自分の居場所(個室)が確保されると、ベッド上で過ごすのではなく、リビングに出て行くようになる。→交流の活発化
- ②リビングで自分の食器に食べられる量を盛りつけ、自分のペースで食事をする、食事量が増え、残飯量が減る。→「食べたい」という意欲を刺激
- ③間に合う距離内のトイレ配置と個人の排泄リズムに合ったケアにより、ポータブルトイレ設置数が減る。→排泄の自立促進

「介護保険施設における個室化とユニットケアに関する研究報告書」(医療経済研究機構 平成13年3月)

○従来型から個室ユニット型へ建替えた特養における生活の変化を調査したもの



平成15年度に制度導入後、約700の特別養護老人ホーム、約200の介護老人保健施設がユニットケアを実施している。

### 介護保険施設におけるユニットケアの状況

(平成17年10月1日現在)

	総数	全施設に占める割合 (%)
介護老人福祉施設	771	13.9
介護老人保健施設	238	7.3

### (参考) 人員配置

#### 介護保険施設の常勤換算看護・介護職員一人当たり在所者数

(平成17年10月1日現在)

	介護老人福祉施設		介護老人保健施設	
	ユニット型	ユニット以外	ユニット型	ユニット型以外
看護・介護職員	1.9	2.3	2.0	2.2

※ユニット型:一部ユニット型も含む

【資料】厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査 平成17年調査結果」